

<b>令和6年度第2回弘前市立郷土文学館運営委員会【視察意見等】報告</b>			
日時	令和7年1月15日(水) 10時00分～12時00分		
場所	弘前市立博物館(視察訪問) 弘前市立郷土文学館(観覧) 弘前図書館2階 視聴覚室	傍聴者	0人
出席者 (敬称略)	委員長 藤田 晴央 副委員長 井上 諭一 委員 宮崎 新 委員 帆苺 基生 委員 桶田 久美子 委員 鈴木 溪心 委員 今谷 弘		
欠席者	委員 浅瀬石 久仁子		
事務局側 出席者	郷土文学館館長 黒滝 雅信 郷土文学館企画研究専門員 櫛引 洋一 弘前市教育委員会生涯学習課長 原 直美 図書館・郷土文学館運営推進室長 山田 俊一 図書館・郷土文学館運営推進室主査 黒崎 みお		
視察先 担当者	弘前市立博物館主事兼学芸員 高橋 奈		
行 程			
10時00分 弘前市立博物館視察訪問(開会) 企画展2「いのちなりけり 没後250年 建部綾足」 【解説】弘前市立博物館主事兼学芸員 高橋 奈 氏 11時00分 弘前市立郷土文学館展示観覧 スポット企画展「津軽の文学の祖・建部綾足展」 【解説】郷土文学館企画研究専門員 櫛引 洋一 氏 11時45分 事務連絡・アンケート等記入 12時00分 閉会			

【意見・感想】(報告)	
①	<p>両展ともにとても興味深く拝見。文学館で文学、博物館で美術という形でコラボレートすることは素晴らしいこと。文学館で文学、市民会館で音楽、ということも考えられてよい。建部綾足については、今話題の葛屋重三郎の生きた時代と重なっており、当時の出版文化についての情報があつたら、来場者は更に親近感をもてただろう。</p> <p>同様に(文学館の方では)そねさんとの恋愛は封建時代にあって出色のもので、経緯や手紙をパネル化してもよかったのではないだろうか。</p>
②	<p>博物館では、大型の画業の展示などがあり、見ごたえがあつた。綾足の墓所についてはネット上に不確かな情報が出回っていることが散見されるので、Wikipediaなどは編集により、他は修正を申し入れるなどして正確な情報の流通につとめるとよいと思う。</p> <p>文学館は、もう少し展示スペースが欲しい気もするが、意欲的な試みと思う。(寺山や太宰との“文体的”近縁性を示せば、さらに津軽の特色を打ち出せそうな気がした。)今回、はじめて気がついたが、青森市出身の作家が“山脈”で南部側に位置づけられているのは違和感がある。(例：高木彬光)</p>
③	<p>距離的にも近い博物館と文学館でこうした連携展示が行われることで、建部綾足について、より深く複眼的に知ることができて大変よかった。改めて建部綾足のすごさが、いろいろなアプローチから知ることができた。</p>
④	<p>2枚のカードのアイディアは、とてもよかった。小さい展示でもいいので、時々、スポット展などで連携するのはよいと思う。</p>
⑤	<p>博物館で画業、郷土文学館で文学と連携することで綾足のマルチな才能を深く考察できたと思う。郷土の先人をボリュームをもって紹介するという点でも連携企画を今後も増やしていただければと思う。</p> <p>博物館、郷土文学館双方を鑑賞できる共通入場券のようなものがあれば、さらに利便性が増すのではないか。</p>
⑥	<p>建部綾足について、インターネットでの下調べはしたのですが、今回の御説明を聞きますと、まったく理解していなかったことに思い知らされました。もちろん、実物を実際に足を運んで見るというのが一番ですが、興味関心の糸口として、SNS・ネットの利用が多いのが現実です。若者だけの文化ではなくなりつつあるので、広い年代に周知するには、ま</p>

令和 6 年度第2回弘前市立郷土文学館運営委員会【視察意見等】(報告書)

	<p>た、情報を残しつつ誰もが手軽に知ることができるにはどうしたらいいか考えさせられました。</p>
⑦	<p>博物館と郷土文学館の連携企画というのが大変よかったです。俳人歌人画家として多才な綾足の人となり、よく理解できました。博物館で、「奇才」と聞き、寺山を思い出していたので、来年度の企画が楽しみになりました。</p>
⑧	<p>展示と解説がセットの方が興味深いという点から、今は、各学校で電子黒板や一人一台のiPadを持っているので、巡回パネル展として、電子黒板をパネル替わりにしてやったり、Zoomで解説など可能かと思います。ご自由にどうぞというよりは、探究活動の中で実施したり、図書委員を中心に参加するなどし、その様子をInstagramにUPするなどして、周知するのも可能かと思います。</p>
⑨	<p>博物館とコラボレーションして綾足の功績を様々な展示から立体的に表していて、とてもいいと思いました。県立図書館も含めて貴重な資料を多数持っているということも知れました。こういう資料をもっとアピールできるような企画がこれからもなされることを期待しています。形として残すということでは、図録があると良いなと思います。</p>
⑩	<p>2つの施設で一人の人物について深く知ることができる今回のような企画は相乗効果があるように思います。どちらを先に観るかオススメがアナウンスされると更に多くの方が建部という人物に興味を持ってくれるように思います。地元の人にもっと建部綾足という人が知られると良いなと思います。どちらの施設も解説なしだとどのくらい理解して観られるのかな?と思いました。</p>
⑪	<p>博物館に比べて文学館のポスター、チラシのデザインが少し目立たないように思います。文学やその人物に詳しくない人でも入りたくなるデザインのポスターになると更に良いのではないのでしょうか。</p>
⑫	<p>両館の熱のいれ方に圧倒されました。担当された方たちのご苦勞を思い感謝いたします。興味を持っていなかった人物なので、何の資料も持ちあわせず、おいおい調べてみたいと思います。入口部分にでも、一般的な人物の概略があればいいのではないかと。</p>